



## Dining & Kitchen

羽目板張りの壁で囲い、キッチンの手元を目隠し。カウンター越しにゲストとの会話も弾みます。リフォームを通じてすっかり打ち解けた「エー・ディーアンドシー」のスタッフと。

## Living

リビングにはカーペットを敷き込み、ヴィンテージ加工したフローリングのDKと区別しています。窓の外のグリーンも手伝って、開放感は抜群。



壁を取り払って  
広々感じられる  
ワンルームの住まいに

というリフォームは、ダイニングキッチンを中心にプラン。黒板塗装の壁や、ディスプレイスペース、あえてむき出しにした配管など、カフェエッぽさ。が随所にちりばめられています。壁を取り払ってワンルームにしたぶん、DK、リビング、寝室は、床や壁の素材に変化をつけて、さりげなくゾーニング。暮らしやすさをキープしながらも、訪れる友人たちが思い思いの場所できつるげる、オープンな空間になりました。「居心地は本当にいいですよ。「カフェネロ」の姉妹店って呼んでるほど(笑)。眺めもいいので、友人たちにも好評です」

## 仲間と集える カフェみたいな ダイニングキッチン

東京都 宮田さん

多摩川の花火が望める絶好のロケーションのマンション。芸能プロダクション勤務の超多忙な宮田さんにとって、自宅でコーヒーを飲む時間は何よりリラックスできる時間とか。

「カフェって居心地がよくて落ち着きますよね。それをそのままもってきたような空間にしたかったんです。友人たちも招きたかったし」と宮田さん。築39年の中古マンションをリフォーム前提で購入し、カフェスタイル。をコンセプトにプランと見積もりを数社に依頼。その中から「エー・ディーアンドシー」を依頼先に決めたのは、「社長の荒川さんに同社が手がけた「カフェネロ」に連れて行かれたから(笑)。そこで実際に素材やつくりを見て、うちですっきり気に入って、イメージも固まりました」

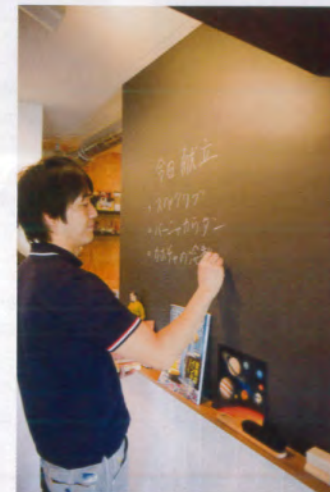
イメージソースができたことで、ほぼおまかせで進んだ



イメージしたのは「カフェのカウンター席」

## Dining & Kitchen

食器は造り付けのオープン棚に。「味があるものが好き」という宮田さん厳選の品々が並びます。キッチンと一体化したダイニングテーブルも、無垢のニレ材を使ったオリジナル。



ガスコンロと冷蔵庫が隠れるように設けた壁。リビング側は黒板塗料で仕上げました。

“お品書き”や、家族ができたら伝言板にも



コーヒーマーカーは、鄭秀和デザインの「アマダナ」を採用。



森の中を思わせる、ヒノキのアロマオイルで香りのおもてなし。

## Entrance

玄関スペースは、壁を茶色のブリックタイル張りに。黒い床タイルは、「土間」をイメージしたもので、右手にあるワークスペースへと続きます。



配管をそのまま見せて、ブリックタイルの目地はわざとラフに仕上げたカフェっぽい内装に。

ERCOL FURNITURE  
FRENCH CHANDELIER  
ANTIQUÉ DOOR&WINDOW  
IRON GATE & OBJET

the  
ON LINE ANTIQUE  
www.paddington.gr.jp  
French  
style

**Paddington**  
パティント・ホームデコレーション  
tel: 047-392-5755  
〒271-0085 千葉県松戸市二十世紀が丘中松町31  
営業時間/10:00am~18:00pm 毎週日曜定休  
cafeteria style \* www.antique-paddington.com/

フランススタイル カフェテリアスタイル



キッチンの位置を大きく変更。  
ワークスペース、キッチン、ダイニングと、ぐるっと回れる暮らしやすい間取りに。

人が集ったときも移動がらくらく



ワークスペースの場所にあったキッチン。現在の「カフェみたいなキッチン」とは大違い!



ワークスペースに取り付けた棚に、靴をずらりと並べて収納。右手の壁には下地用のペニヤ板を張って、武骨な感じに。

Work space



玄関からもキッチンからもアクセスしやすいワークスペース。LDKの開放的な雰囲気とは対照的な「個室感」が、逆に落ち着けるそう。

Bathroom

清潔感たっぷりの洗面室。木製カウンターが白い空間に落ち着きとぬくもりをプラスします。洗面ボウルは「IKEA」で購入したもの。



Lavatory

トイレには、ブリックタイルの白を張り、玄関と印象を変えつつ統一感をもたせています。



よくある洗面台ユニットが設置されていた、寒々しい洗面室。位置を変えずに印象を一変。

Before



Bedroom

リビングと寝室をチェストでゆるやかに間仕切り。壁&天井の色もワンルームの住まいのゾーニングに役立っています。



梁を活かして設けたディスプレイ棚。インテリア好きの宮田さんらしく、お気に入りの洋書や小物をゆったりと飾って楽しめます。

テレビ台は、足場用の単管を使って作った「エー・ディーアンドシー」のオリジナル。粗っぽい印象の素材を使って、生活感を抑える工夫が施されています。



宮田さんの出身地の宝塚を走る「阪急電車」の色を採用

寝室の天井高はそのままに、それ以外のスペースには天井をとって高さを出しました。店舗風の照明も、カフェらしい雰囲気をつくります。

Before

3部屋に細かく仕切られていましたが、リフォームではほぼすべての間仕切り壁を撤去。

人が集まる家づくりのコツは?

エー・ディーアンドシー



代表取締役  
荒川浩司さん

住宅リフォームから、店舗&オフィスの内装デザインまで対応。「カフェに住もう」というコンセプトで、「Caffe zum-カフェ住む」プロジェクトも始動。宮田さん宅もその一環として進みました。

DKを住まいの主役にする、それだけで人が集まりやすくなると思います。また、素材選びや仕上げであえて「粗っぽさ」を出すこと。生活感が抑えられ、カフェのような居心地のよさが生まれます。

data

家族構成 本人  
住居形態 マンション  
築年数 39年  
建物規模 11階建ての7階  
専有面積 53㎡  
リフォーム面積 53㎡  
リフォーム期間 2009年10月~11月  
リフォーム費用 約800万円  
リフォーム設計・施工 エー・ディーアンドシー  
03-5315-3519 www.adandc.jp

